

シラバス

授業科目	医薬品情報(H18～)・医薬品情報学(～H17)		
(英文名)	Drug Information・(Drug Informations)		
担当教員	片山博和 他		
単位数(期別)	△1(前)(H18～) ・1(前)(～H17)	対象学生	3P(H18～) ・2P(～H17)

■授業のねらい・概要■

「くすり」は物と情報が一緒になってはじめて適正な使用ができます。「くすり」の有効性、安全性および使用性を高めるため、医療関係者は使用者（患者さん）にわかりやすい医薬品情報の提供をしなければなりません。本講義では、医薬品情報にはどのようなものがあるのか、利用の仕方、評価法について学びます。医薬品情報の重要性について再認識するため薬害事件の経緯についても学びます。

■授業(学習)の到達目標■

<情報>

- 1) 医薬品として必須の情報を列挙できる。
- 2) 医薬品情報に関わっている職種を列挙し、その役割を説明できる。
- 3) 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。
- 4) 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。
- 5) 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。

<情報源>

- 1) 医薬品情報源の1次資料、2次資料、3次資料について説明できる。
- 2) 代表的な2次資料、3次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。
- 3) 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。
- 4) 医薬品添付文書の法的位置づけと用途を説明できる。
- 5) 医薬品添付文書に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。
- 6) 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。

<情報の評価>

- 1) 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。
- 2) 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。
- 3) EBM (Evidence-Based Medicine) の基本概念と有用性について説明できる。

<薬害>

- 1) 代表的な薬害の例について列挙し、それらから得られた教訓について説明できる。

<一般用医薬品>

- 1) 一般用医薬品の定義、特徴について説明できる。
- 2) 一般用医薬品の承認審査の過程について説明できる。
- 3) セルフメディケーションの概念について説明できる。

シラバス

■回数ごとの授業内容■

- 1 薬害事件の実例（サリドマイドなど）（片山）
- 2 薬害事件の実例（ソリブジンなど）（片山）
- 3 医薬品情報の種類（片山）
- 4 医薬品情報の検索法（片山）
- 5 現場の医薬品情報（調剤薬局）（大林）
- 6 現場の医薬品情報（医薬品卸）（土屋）
- 7 薬剤疫学（片山）
- 8 定期試験

■成績評価の方法・基準■

試験による。

■使用テキスト■

改訂2版 薬学情報学/新谷 茂等/じほう

■参 考 書■

該当なし。

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	随時
----------------------------	----